

# 子供たちの夏休みアート体験報告 “げいじゅつ”っておもしろい!

彩の国シェイクスピア・シリーズや海外でも話題のダンスといった各種公演だけでなく、財団法人埼玉県芸術文化振興財団では、地域とともに舞台芸術の芽を育む、普及教育事業を行っている。特に7～8月は子供たちのためのプログラムがたくさんあり、多くの参加者を得て好評だった。そこで、実際にどんなことが行われたのかをご報告。多くのプログラムは今後も続けていくので、知っておけば、手軽に芸術を体験する手だてにもなるはずだ。

## A 「MEET THE MUSIC アーティストが学校にやってくる!」

財団法人埼玉県芸術文化振興財団が実施している様々な普及教育事業の中でもユニークなのが、アウト・リーチと呼ばれる事業だ。つまり、劇場にお客様が来るのを待つだけでなく、こちらから出向いていくという企画。「MEET THE MUSIC アーティストが学校にやってくる!」はそのタイトルどおり、アーティストが学校まで出向き、体育館や講堂などでコンサートを行うもの。対象は埼玉県内の小・中学校。昨年からはじめ、好評を得たところから、今年も10校を訪問する。その中で、今夏は世界で活躍するパーカッションスト、加藤訓子さんが小学校3校を訪問した。加藤さんのソロ演奏あり、お話あり、そしてパチと手拍子によるリズム体験ありと、学校の体育館が素敵なステージへと変わり、子供たちも大喜び。以下の子供たちの感想文からは、そんな子供たちの喜びが伝わってくる。「もっくんをすごくきれいにひいていた。たいこもすごいおどったよ」(1年生)「“楽器の始まり”の話聞いて、初めて『いろんな音があるんだな』と思いました」(3年生)「私は、音楽って不思議だなと思いました。悲しい音楽や、楽しい音楽や、やさしい音楽、いろんな音楽があってとても心が楽しくなってきました」(5年生)普段、なかなか本格的な音楽に触れることの少ない子供たちにも、いいものを味わってもらい、またとない機会となったようだ。



パチを使ってリズム感のレッスン。みんな楽しそう!

【実施日】7月11日(火)、13日(木)、14日(金)  
【出演】加藤訓子(パーカッションとおはなし)  
【会場と参加人数】三芳町立竹間沢小学校 約350人  
さいたま市立尾間木小学校 約828人  
上尾市立西小学校 約360人

## B 「光の庭プロムナード・コンサート オルガン・ミニ・コンサート」



ポジティブ・オルガンの中には、パイプや色々なパーツがいっぱい。

「光の庭プロムナード・コンサート」は、彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザで、年10回行っている、定例のコンサート。吹き抜けから気持ちよく日光が降り注ぐこのコンサートは、オルガン・コンサートのほか、東京交響楽団による室内楽の場合もある。無料で楽しめるコンサートとしてすでに人気も高いものだが、今回は夏休みスペシャルということで、特別にワークショップ付きで開催。ポジティブ・オルガンという小型のパイプオルガンの中身をすべて見せてしまおうという企画だ。最初はバラバラの状態のオルガンに、集まって来た子供たちはもちろん、付き添いの親たちもビックリ。オルガンの仕組みを東京芸術大学の太塚直哉さんが説明しながら、オルガン製作家のマチュー・ガルニエさんがそれをどんどん組み立てていく。最後には調律して、そのオルガンで実際にデモンストレーションしてみせるという趣向。「組み立てるときはじめて見るものがいっぱいあっておもしろかったです」(小3 さいたま市)「太塚先生の説明も難しい事をやさしくお話し下さり年齢問わず楽しめた」(60代女性 さいたま市)小学校低学年のお子様から高齢の方まで楽しんでもらった企画だった。



オルガン・ミニ・コンサートでは、歌とオルガンの美しい響きに聴衆もうっとり。

【実施日】8月19日(土)  
【会場】彩の国さいたま芸術劇場内 情報プラザ  
【出演】太塚直哉(オルガンとおはなし)  
鈴木美登里(ソプラノ)  
マチュー・ガルニエ(オルガン製作家)  
【参加人数】ワークショップ110名、コンサート189名

## C 「劇場体験ツアー」



スタッフの指導のもと、照明の操作盤を体験! どの子の目も興味津々だ。

舞台の裏側を楽しく親子で体験できる「劇場体験ツアー」。昨年は「劇場冒険ツアー」と題し、好評だった企画を、今年はさらにグレードアップ。小学校の子供たちとその保護者を対象に、舞台の裏側まで見せるのだが、ただのバックステージ見学とは違い、ちょっとした仕掛けがあるところがミソ。参加者はその仕掛けにのせられるうちに、照明の仕組みや音響の効果を体験。芝居に興味がある小学校高学年の女の子は、今までは役者志望だったものの、演劇やダンスをより素敵に見せる裏方の仕事にも興味を持ったり、ある保護者も多くのスタッフが裏で舞台を支えていることを実感したという。よく劇場に来る人にも、普段なかなか劇場に足を運ばない人にも、違った観点から見ることで、より劇場が身近な存在になったようだ。ほかにもアンケートにはこんな答えが……。  
「ぶたいのしょうめいとかをいじれておもしろかった」(小3)  
「子供も親も心をひかれる、笑いのたえない楽しいツアーでした」(保護者)  
親子で劇場の秘密を体験できる楽しい劇場ツアーになったようだ。



舞台の上でスタッフから舞台機構の説明を受ける子供たち。

【実施日】8月23日(水)～25日(金) (1日2回 計6回)  
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
【参加人数】236人 【料金】500円

## D 「熊谷会館 クラシックバレエ・セミナー」



フョードロフ先生の熱心な指導に子供たちも真剣なまなざしを向ける。

熊谷会館で新たな事業として行われたのが、「熊谷会館クラシックバレエ・セミナー」。熊谷はもともとクラシック・バレエがさかんな土地柄ということで、地元からの要望もあってこの企画が実現。講師には、元ボリショイ劇場のプリンシパル・ダンサー、ニコライ・フョードロフ氏が招かれた。以前から都内でセミナーを行い、実践的な教え方に定評のある方だ。対象となったのは、最低2年以上バレエ経験のある小学校1年生以上。本場のロシアバレエが学べるとあって、募集をするやいなや、すぐに定員になってしまったほど。それだけに、参加者たちはみな真剣で積極的な子たちばかり。セミナーには、バレエ・ダンサーの齋藤友佳理さんも通訳として参加。フョードロフ氏の熱心な指導とともに、バレエを学ぶ子供たちにとって憧れの存在である齋藤さんに、手取り足取り教えてもらって、みな感激した面持ちだった。どうやればきれいに見られるか、表現できるか、骨格から具体的に、基礎をきちんと教えてくれる内容に、参加者はみな納得したようだ。



齋藤友佳理さん(写真左手前)は最高のお手本。

「初めから難しいことをやらずに、基礎から学ぶことができてよかった」(中級クラス参加者)  
「普段のレッスンではテクニックの注意は受けるけれども、今回のセミナーでは表現の仕方を教えてもらい、とても勉強になった」(上級クラス参加者)  
一流のプロからしっかり基礎を学べた貴重な体験となった。

【実施日】8月29日(火)～30日(水) 【会場】熊谷会館  
【講師】ニコライ・フョードロフ  
【参加人数】63人(女性61人 男性2人) 【料金】8,000円  
応募資格  
初級クラス 経験2～4年 小学1年生以上  
中級クラス 経験5～6年 小学4年生以上  
上級クラス 経験7年以上 中学1年生以上